



学校だより 1月号

泉区緑園五丁目28番

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/ryokuenhigashi/>

TEL (811) 6710

変わらないもの

～「エンジン全開フルパワー・ガッツ緑園・大きな心をもつ緑園の子」～

校長 副島 江理子

あけましておめでとうございます。2017年が始まりました。

大変お天気に恵まれた穏やかな冬休みでした。真っ青な新春の空を眺めながら、今年も緑園東小学校の子どもたちの毎日が、この青空のように澄み切った毎日であることを心から願い、初詣では子どもたちの健やかな成長を神様に祈願いたしました。

10年以上も前に一年生で担任した教え子からの年賀状に、4月からは大学生ですという説明とともに、素敵に成長した現在の写真が添えてありました。この教え子の10年間が大変充実したものであったらと嬉しく少し安堵した思いでした。小学校とは、卒業する12歳の子どもたちが社会に出る10年後を考え、未来に生きる人財を育む場所です。だからこそ私たち小学校教育に携わる者は、これからの社会に必要とされる「汎用的な能力」をしっかりと捉えて、学校での教育活動を考えていく必要があります。

さて、この3月には、新学習指導要領が告示されます。「2030年の社会と子どもたちの未来」に向けて「新しい時代と社会に開かれた教育課程」を編成していくこととなります。新学習指導要領では、新しい時代に必要となる資質・能力の育成として、「学びを人生や社会に生かそうとする『学びに向かう力・人間性の涵養』」「生きて働く『知識・技能の習得』」「未知の状況にも対応できる『思考力・判断力・表現力等の育成』」が掲げられています。実際に社会とかかわるなかで発揮できる力を身に付けることに重点が置かれています。

急速に変わりゆく社会を私たちは日々実感しています。10年後の社会は予測不能であり、今の自分たちが予想もできない世の中になるのではないかという想いが胸によぎりますが、実は昔から大切にしてきた「人として当たり前のこと」をしっかりと身に付けることが、新しい時代に必要とされる資質・能力の育成につながるのではないかと感じています。こんな時代だからこそ、まず人格形成の基盤となる「健全な心身」を育成し、「基本的な習慣」や「規範意識」をしっかりと身に付けることを大切にしていきたいと思います。

1月7日に「緑園作文コンクール」の表彰式があり、代表児童が作文を朗読しました。各学年ごとに、それぞれが地域とのつながりの中で、自分が経験したことをもとに一生懸命考えたことを表現していました。

また、午後からは緑園地区の「賀詞交歓会」が行われ、キッズクラブの「和太鼓サークル」のメンバーが地域の方々の前で演技を披露いたしました。地域の方々に活躍の場をいただくことで子どもたちも伸びやかに自分自身を成長させており、地域や社会とつながって子どもを育てていくことの大切さを実感いたしました。

これからも、各学年それぞれが地域の方々と共に活動をすることで学習を広げたり深めたりしていきたいと思います。そして、今年も今まで本校が取り組んできている「自分たちで学びを追究する・自分たちで生活をつくる・自分から地域にかかわる」取組をますます充実させていきたいと思います。

「エンジン全開フルパワー ガッツ緑園 大きな心をもつ緑園の子」のスローガンのもと、一人ひとりの子どもの「自信」と子どもたち同士の「信頼」をより高め、確かな力を身に付けられるよう、「チーム緑園東」として、教職員一同、誠心誠意努めてまいります。

本校の教育活動にご理解とご協力をいただきますよう、心よりよろしく願い申し上げます。